

No.	時点		発言者	意見	対応
1	ビジョン懇談会②	個別取組	高橋委員	在留外国人に関する課題について、資料編に関連データを掲載したことを評価する。本編への掲載には至っていないが、今後も日本語教室の運営支援など対応が必要であり、県国際交流協会としても、構成市町や関係団体と連携を進めていく。	御意見のとおり、今後5年間を通じて、各市町における取組を共有し、関係機関と連携しながら、圏域としての取組の可能性について検討してまいります。
2	ビジョン懇談会②	個別取組	高橋委員	「国際リニアコライダー誘致推進事業」について、事業名と内容に乖離があり、成果指標も「受講者数」では違和感がある。ILCは国が関与する課題であり、圏域だけで誘致を実現できるものではないため、事業名のトーンを弱めるか、指標を再検討すべきではないか。	御指摘を踏まえ、現状では誘致機運の醸成・維持を目的とした事業の展開であることを踏まえ、事業名を変更しました。成果指標についても、将来的には国の動向や「国際的なまちづくり」の視点も踏まえ、より適切な設定を検討してまいります。
3	ビジョン懇談会②	個別取組	役重委員	「技術系・資格系職員の採用試験共同実施の検討」が反映されていることを評価する。自治体間の水平連携と岩手県との垂直連携が重要であり、情報共有や調整を丁寧に行ってほしい。応募者増加にはPR強化も必要であり、ターゲット層への発信を広域で進めるべき。	当該取組は「共同実施の検討」としており、先行して取組を展開する岩手県の方針や広域展開の方向性を確認しながら、慎重に調整を進めてまいります。また、PR強化は広域で取組む意義があると認識しており、今後検討を進めてまいります。
4	ビジョン懇談会②	全体	役重委員	ビジョンの取組は住民にほとんど認知されていないため、積極的な周知が必要である。ビジョン懇談会だけでなく首長懇談会の資料も公開するべきであり、併せて各市町において議会へ丁寧な説明を行うことを期待する。	御意見を踏まえ、非公開とすべき案件を除き、首長懇談会の資料も公開することとし、各市町に対し、適切なタイミングで議会への説明を実施するよう依頼してまいります。
5	ビジョン懇談会②	全体	本館委員	他の地方自治体においては、プロジェクト単位でプロフェッショナル人材を活用する事例が増えている。人材に限らず、民間の知見の活用について、どのような取組・検討を行っているか。	圏域各市町においても、地域活性化企業人制度や人事交流、民間との連携協定を活用し、民間の知見を活かした課題解決に取り組んでいます。民間人材活用の広域的な仕組みについては現在は未整備ですが、情報交換を行いながら好事例を共有し、横展開を検討してまいります。
6	ビジョン懇談会②	個別取組	舘川委員	「デマンド交通運行範囲拡大事業」について、矢巾町のデマンド交通が盛岡市南部まで移動できるようになると認識している。矢巾町にとってはメリットがあるが、圏域全体としてのメリットはあるのか。	ビジョンへの位置づけには、連携中枢都市と少なくとも1市町が連携して事業を開始することが条件となっており、現時点では2市町での取組として開始するものです。圏域内の移動利便性向上や公共交通の維持に資する取組であることから、今後広域全体に効果が波及していくことを期待し、取組を進めてまいります。
7	ビジョン懇談会②	個別取組	役重委員	「介護職員の共同研修」はとても良い取組。介護スキル向上だけでなく、人材不足を踏まえた働き方や職場環境改善を経営者も含めて考えるワークショップ型研修など、幅広いカリキュラムを検討してほしい。また、行政職員や福祉を目指す学生も参加し、現場と一緒に学ぶ機会を設けることが重要。	御意見について、今後の取組の参考としてまいります。
8	ビジョン懇談会②	個別取組	山本委員	「創業支援事業」について、セミナーや事業計画策定支援に加え、創業場所が見つからないとの相談がある。特に市街化調整区域の調整は盛岡市・矢巾町・滝沢市の広域での対応が必要であり、容易ではないため、その支援も盛り込めないか。また、「産学官連携の推進」については、大学等（県大、盛大、岩大、産業技術短大）を連携先に加えることを検討してほしい。	創業場所確保に関する課題について、今後の取組の参考としてまいります。大学等との連携については、圏域各市町において取組を進めていますが、御意見を参考とし、情報交換を行いながら広域的な仕組みについても検討してまいります。
9	首長懇談会	個別取組	八幡平市長	「IGRいわて銀河鉄道通学定期乗車券購入費補助事業」について、八幡平市でもIGR区間を含んでいる大更駅～盛岡駅の料金が値上げされた経緯があり、単独で補助を実施している状況にある。連携した取組を進められないか。	御意見を踏まえ、最終案では盛岡市・八幡平市・岩手町の3市町で取組を進めることとしました。
10	首長懇談会	全体	矢巾町長	ビジョンに記載のある国の「地方創生2.0基本構想」について、新首相の所信表明では地方創生への重点が弱まっているように感じる。今後、新たな情報が示された場合、内容を置き換えるかどうかを伺いたい。	御意見を踏まえ、今後国の地方創生に関する新たな情報が示された場合には、年度改訂等のタイミングで必要に応じて記載内容の見直しを検討してまいります。